

家畜衛生情報

牛の観察を十分にしましょう！

「牛 RS ウイルス病」

様疾病が発生しました。

管内酪農家で、発症した6頭のうち平成16年2月に1頭が死亡しました。

【牛RSウイルス病とは】

ウイルスの感染によって起こる急性熱性伝染病です。呼吸器症状を主徴とする伝染病で、直接飛沫などにより伝播されます。単独での感染は軽症ですが、他の疾病の混合感染や、細菌の二次感染により、重篤な症状となり死亡することもあります。

【本病の症状】

発熱（39.5～41.5）の
期間が5～6日と長い
呼吸促進、咳などの呼吸器症状
肺気腫に伴う皮下気腫
乳牛では、泌乳量の著しい減少
妊娠牛では流産をみることがある



著しい肺気腫



流涎（よだれ）を呈した牛



複合感染をした肺炎

【防疫対策について】

- 観察：日頃から牛の状態を十分に観察しましょう。
- 予防：本病の予防にはワクチンの接種が有効です。
- 消毒：牛舎の清掃・消毒に心がけましょう。
- 導入：導入牛は必ず隔離観察しましょう。
- 制限：外来者の立ち入りを制限しましょう。



飛騨家畜保健衛生所
高山市上岡本町7-468